ぱいおん通信

学ぶ楽しさ、知る喜びを伝えたい

パイオン総合教育研究所

第162号

2017年(平成29年)

5月

倉敷市西富井1225-16

TEL.(086)427-7521

E-mail:pione@aid2005.com

自分をうつす鏡！

5月に入り学校や園にも慣れてきたことだと思います。その中で新中学1年生にとっては、初めての定期テストがあるのも5月です。

テストと聞くとネガティブになる人もいると思いますが、少し視点を変えてみると、頭の健康診断みたいなものです。お医者さんは、検査結果に基づいて診断を下し治療をします。テストは、学習内容の理解度や定着度を確認するための検査です。点数という結果に左右されず、今後の対処方法に気を使いましょう。

光田　嘉文

人生いろいろ、色もいろいろ！(No.2)

12.のカラーパワー　～心と体のつながり～

皆さん、いつも何気なく選んでいる色や好きな色にはメッセージが隠されています。12.色の中で今回は4色のカラーパワーをお伝えしていきます☆

●レッド　体…体の半分（腰から下、生殖器）心…活力、興奮、情熱、自己主張

●ブルーグリーン　体…胸元（胸腺）心…バランス力、自己認識、平等、忍耐

●レッドオレンジ　体…下腹部心…競争力、スピード、勇気、挑戦

●ターコイズ　体…胸元（胸腺）心…自分力、領域、マイウェイ、自立

右記を参考にして自分作りをしてみては？

妹尾　誉子

人にある3つの〝タイ〟を知ってますか？

４月３０日第９回目ほっとルームセミナーを開催しました。今回は光田代表に「発達障害の子どもと保護者の関係」について実際にＬＤ児を育てた親としての実体験を交えた話をして頂きました。その中で印象に残った言葉を皆さんにお伝えしますね。「人の心には三匹のタイが泳いでいる」それは①褒められタイ②認められタイ③してあげタイ（役に立ちたい）の３つのタイ。人(子ども)にとって褒められたり認められたりする事は大きな喜びであり「頑張ろう！」「もっとやりたい。」の源になっているという事。自分自身を振り返ってみると思いあたる事はありませんか？私は悔しいと思うと負けず嫌いな性格から見返してやるという思いでやってきた事もありましたが、結局褒めてもらいたくて認めてほしかっただけなんですよね。人は欠けている所に目がいきがちです。当たり前の事を当たり前と思わずに小さな事でも褒めていってあげて下さいね。次は茶話会を企画していますよ。お楽しみに！宇野　由香里

児童発達支援 放課後等デイサービス

提供時間　14：00～18：00

受け入れ　幼児～高校生

空き状況 <5月1日現在>

ほっとルーム倉敷

月	火	水	木	金	土	日
x	x	△	x	x	x	休

ほっとルーム倉敷Ⅱ

月	火	水	木	金	土	日
x	x	x	△	x	x	休

ほっとルーム倉敷Ⅲ

月	火	水	木	金	土	日
x	x	x	△	x	△	休

ほっとルーム倉敷

「ほっと」するところ
「Ｈｏｔ」なところ
「発途(ほっと)」できるところ

子どもたち○△□ 第25回

アスペルガー症候群や自閉症の子どもは、省略されたもの（ないもの、示されていないもの）を推測して考えることが難しいのです。例えば、「テーブルの上にあるあれ取って」、「用意はできた？」と言われても、特性を持つ子どもは戸惑ってしまいます。テーブルの上にある「あれ」とは何か、何の用意のことなのかといったあいまいな言葉の意味が理解できないのです。同じように「きちんと片づけなさい」と言われても、何をどのように片づければいいのかイメージができません。

日本語は特に省略した表現や代名詞の多い言葉です。できるだけ分かりやすく、具体的に伝えてあげましょう。

池永　慎一

「バランス＆ひも」トレ　第25回

【ヒモで椅子ラク】

長時間の座り作業もこのヒモで椅子ラクがおススメです。やり方は簡単です。椅子に座った状態で両脚をヒモで括るだけです。位置はヒザ上で、ヒザ小僧の間に拳が一つ入るくらいにします。

あとは自然にヒモにテンションがかかるようにカラダをラクにするだけ。ヒモを着けた瞬間から下半身と上半身のつながりを感じる事ができます。特に腰が疲れやすい人は、驚くほどラクになるはずです。

中村　昭平

児童発達支援・放課後等デイサービス

ほっとルーム倉敷

①“ほっと”するところ

子供さんも保護者の方も心安らかに、心豊かに、過ごせる時間と空間を提供します。

②“Hot(ホット)”なところ

情熱を持った指導員が、優しく温かく指導します。

③“発途(ほっと)”なところ

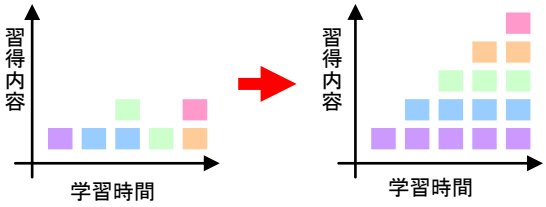
発途(ほっと)とは、「出発すること。門出。」という意味があります。子どもさん各人の門出の場所になりたいと考えます。

学齢期の支援＝生活能力＋学習能力

●「ほっとルーム」の学習支援

学齢期になると勉強に対する要望が高くなります。やみ雲に学習したのでは結果があらわれにくいものです。各自の特性に応じた習得手段が必要です。

当事業所では学習を療育の手段として用い、コミュニケーションに必要な傾聴力・表現力・習得力・集中力・姿勢保持などの生活能力の向上と共に自己肯定感を養い、自立への促進に努めています。



成長と共に必要な支援は変化します！

お問合せ･ご相談は･･･

ほっとルーム倉敷
〒710-0847 倉敷市東富井 987-10
電話０８６－４２７－７５００

ほっとルーム倉敷Ⅱ
〒710-0834 倉敷市笹沖 695-1
電話０８６－４２７－７５４０

ほっとルーム倉敷Ⅲ
〒710-0038 倉敷市新田 3057-8
電話０８６－４２７－７５４４

関連施設

パイオン総合教育研究所
・学習塾パイオン　（個別指導）
・鹿島学園高等学校　倉敷学習支援センター（通信制高等学校）

学ぶ楽しさ、知る喜びを伝えたい